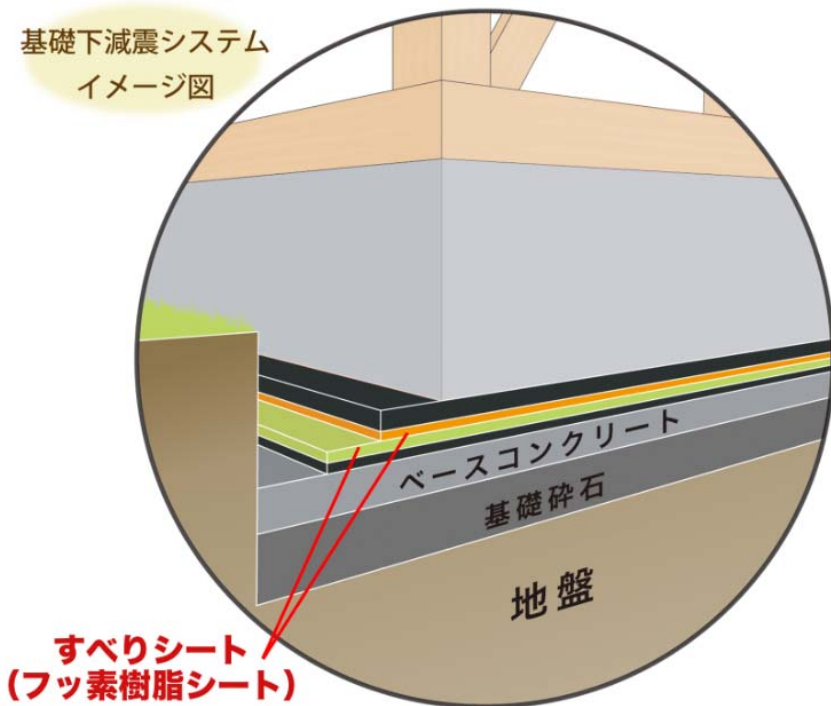


住宅と命を守る為の 新地震対策システム登場!!

「基礎下減震システム」 大地震がこない家に

免震でもない、制震でもない「減震」という新しい発想!



大地震の揺れを
大幅にカット!

■大地震を震度5強まで低減*!

重なり合った2枚のすべりシートによって地震の力を逃がすことで、大地震による建物の揺れを震度5強に低減させることができます。
*一般社団法人ベターリビング技術審査証明取得時の振動実験結果によるものです。

■家族の命を守ります!

揺れの低減効果により、大地震が招く建物の大規模な損傷や重たい家具の転倒を防ぎ、何よりも大事な家族の命を守ります。

■すべりシートは高耐久で長寿命!

繰り返しの地震を想定した高性能シートを採用。長期間に渡り性能を維持します。

■納得のフリープラン!

基礎の下にすべりシートを敷くだけなので自由な建物設計が可能です。

安心と信頼の基礎下減震システム

一般財団法人ベターリビング技術審査証明と特許を取得しています

ビイック株式会社

【基礎下減震システム施行例】



すべり材シート一式



防水シート敷設



目地粘着テープ固定



下部すべり材敷設



目地フッ素樹脂テープ固定



上部すべり材敷設



保護ゴムマット敷設



立上がり型枠固定



フレキシブル配管



鍍鋼板の配管カバー



空調室外機設置状況



湯沸し器設置状況



雨水管設置状況



ポーチの可動部処理

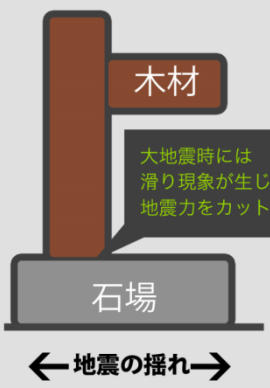


ジャッキによる原点復帰
(オプション)

＜古来の人々の知恵が現代に甦る＞

古来の人々が施してきた地震対策に石場建て工法があります。これは、地盤に敷いた礎石の上に住宅の柱を設置するものです。大地震時には柱が礎石上をすべることで住宅に伝わる地震の揺れを低減できます。2011年1月にE-ディフェンスで行われた国土交通省による石場建て工法の実大震動実験でも、「すべり」現象で地震力が低減されることが確認されています。

石場建て工法



しかし、現在の建築基準法では基礎と土台を固定しなければならず、この工法の採用は難しいのです。また、柱脚が固定されないことで柱が浮き上がる危険もあります。一方、現在の住宅は、地震力をそのまま住宅に伝えるため、堅固ではありますが激しく揺れます。阪神淡路大震災の時は、激しい揺れでタンスなどが倒れ多くの方が亡くなりました。

基礎下減震システムは両者の問題点を解決する、画期的なシステムです。

一般財団法人ベターリビングの技術審査証明を取得しました。



開発・販売 **ビック株式会社**

〒東京都文京区本駒込6-20-4

TEL:03-3947-5800 FAX:03-3947-7675 E-mail:vic@vic-ltd.co.jp

URL:http://www.vic-ltd.co.jp